

役員会だより&技術懇談会の開催

9月3日(月)15時30分から役員会を組合事務所で開催した。
 ・今後の研修事業として、合同支部会の研修Ⅱは賛助会員の商品説明及びフルハーネスの新ルールが来年2月から施行されることによる説明に充てられ、来年1月24日(木)開催の新年会の講演のテーマは経済見通しとする方向でいくことが確認された。



・今年度重点施策として新規加入促進の進捗状況が話し合われ、1社の加入が具体化しそうとの報告があった。

17時から22年度から実施してきた横浜国大名誉教授の青木博文先生を囲んでの役員との技術懇談会は一応の成果を見たので今回(9回目)をもって終了することになった。先生は自らの人生と鉄骨の歴史を振り返りながら鉄骨構造のすばらしさ、大きな時代の変化の中で鋼材の進化・構造計算の進歩の状況、品質管理と工場審査、鉄骨製作資格の重要性など鉄骨に関する総括的な講義をされた。県認定審査時代から組合の技術的な向上に大きく貢献されてこられた先生の長年の功績に感謝するため、懇談後近藤信一元理事長、加藤卓郎前理事長も加わって地下の志摩において懇親会が開かれ、岸部理事長から先生に長年のご指導、ご尽力に感謝の意が表明され、先生を囲んで大いに盛り上がりを見せた。

青年部の横顔

No. 10



(株)日向鐵工
 専務取締役 日向喜久仁
 千葉県木更津市高柳4877-1
 TEL 0438-38-4501
 FAX 0438-38-4502
 E-mail
 kikuhito@hyuga-tekkou.co.jp

弊社は私の父である社長が、鎌倉の山の中の空き地からスタートしたと聞いております。なので私も鎌倉の山の中で育ち、幼少の頃には祖父に連れられてよく山の中を歩いておりました。5歳ぐらいからラグビーを始め、中高はバレーボール部に入り、幼い頃から体を動かすのが好きでした。頭を使わず体ばかり動かしていたので当然大学には行けずアルバイト感覚で社長のもとで働き出したのがこの業界に入るきっかけでした。私は他の職業や会社を経験していないので世間知らずのところがありますが、最初の職種を最後の時までやり抜くのも悪くないかな、と最近やっと思えるようになってきています。

素晴らしい先輩方、頑張っている同年代、私よりも年下で頑張っている若い方、色々な世代で話が出る場所、色々な勉強をさせて貰える青年部の活動に感謝しつつ、日々頑張っております。

Mグレード部会の開催

9月12日(水)15時から組合事務所で開催した。この秋に部会員に調査をかける工事請負価格実態調査表について各項目の付帯条件と単位についての最終調整を行った。

市況情報としては、山積みは年内一杯は埋まっ
 ているオーバーペース的な状態、来年2月までは
 予定が入っている、来年6月まで一杯のところも
 。単価は下がっていないが騰がってもいない。中
 小物件で22~24万が中位数、付帯でカバーする。
 付帯物件が主体などところでは30万以上。材料の調
 達難でBCRもないが、特にボルトが品薄で22のハ
 イテンションは全くない、値段も騰がっている。
 相変わらず凶面の承認が遅いという声が大勢。物
 件が比較的大きくなってきている、手間
 がかかるものが多い、鳶がないなどの
 声もあった。北海道地震で



の鋼材等のサプライチェーンの影響については聞いていないとの回答だった。

RJNグレード部会・研修会

9月15日(土) 16時から組合事務所で中小企業の福利厚生、年金、労基法の一般的な概要について宮下正雄社会保険労務士から説明があった。まず毎年10月に更新される最低賃金は神奈川は983円、全国平均874円、900円を超えるのは東京、大阪の3都府県のみ。仕事を理解させるには



仕事の棚卸をしてみることが重要



で、日報を書かせることで見えてくると前置きがあり、その後就業労務管理は労働時間、休憩、休日、年休、時間外を一体で考えることが重要とし、福利厚生を活用(別掲)等の概説があった。研修後は例により講師を交えて懇親会が開かれた。

研修「中小企業の共済制度」要旨

- ・従業員の退職金の手当は「中退共(独法・勤労者退職金共済機構)」がある。掛金は損金算入だが、積み立てた退職金は企業に支給でなく退職者に直接支給されることとなる。退職理由は自己都合、定年、会社都合があり、会社の退職に関する制度設計を立てることが重要で、掛金額もそれにより決める。
- ・経営者、役員退職金の手当は「小規模企業共済(独法・中小企業基盤整備機構)」がある。加入者は130万人。掛金は全額所得控除となり、掛金額は月千円から7万円の自由設定で、加入後も変更できる。
- ・取引先が倒産し売掛金の回収が困難になった場合貸し付けが受けられる「経営セーフティ共済(独法・中小企業基盤整備機構)」がある。毎月の掛金は5千円から20万円で税法上損金算入。貸付金額は掛金の10倍(最高8,000万円)で、貸付条件は無担保、無保証人、無利子。解約すると掛金総額の80%以上の解約手当金が受け取れる。

青年部・バーベキュー大会

9月23日(日)11時から真鶴半島の先端にやや近い相模湾を見通すところでBBQ大会が開かれた。ここ真鶴は漁港の外れに日本三大船祭りである貴船神社がある。神社の近くには「しとどの窟」という洞窟と石碑が残っていて、治承4年(1180年)源頼朝が石橋山で平家打倒の旗揚げに敗戦し、この岩屋に頼朝主従が隠れていたとの事、ここから荒天のなか小舟で相模湾を横断し三浦半島を迂回して房総にて再起している。



大会は青年部員の炭熾しから始まり、田中会長と岸部理事長の挨拶の後、女性陣が用意した肉、焼き鳥、茄子玉ねぎなどの野菜、ウインナーなどの食材が焼かれた。子供たちを喜ばすために各種趣向が用意され、先ず鮎の掴み取り、磯遊び、ヨーヨー釣り、ボールすくい順次繰り広げられ、掬い取った鮎はすぐに焼かれて食材となった。焼きそば、かき氷なども供されて満腹感を味わった。最後には子供たちのお土産に配られた水鉄砲が青年部員をターゲットに次々と掛けられ、青年部員もこれに負けじと応戦して大いに盛り上がり、14時半ごろお開きとなって楽しい一日を過ごした。



参加者は賛助会員も含めて70余名だった。

